

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030183

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○事業期間 平成26年度～34年度 ○総事業費 985,000千円
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	2	経営基盤の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	幌内地区(幌内漁港)水産生産基盤整備事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	北海道					
事業指標	工事進捗率					
事業目標	100%					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	9 産業振興課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

132	全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画内容	幌内漁港の外郭・水域・係留・輸送施設・用地埋立整備 ○事業費 524,708千円 ・漁協分担金 1,023千円 ・一般財源 4,094千円		○幌内漁港 地質、構造設計、実施設計一式	○幌内漁港 西護岸新設 L=50.0m 総事業費 60,572千円 地元負担 0千円	○幌内漁港 西護岸新設 L=80.0m 総事業費 125,000千円 地元負担 0千円	○幌内漁港 北防波堤新設 L=30.0m 北護岸新設 L=16.0m 西護岸新設 L=20.0m -2.0m泊地 設計 一式 -2.0m物揚場 設計 一式 総事業費 175,500千円 地元負担 600千円
	事業費(千円)	5,117	0	4,517	0	600
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	1,023		903		120
一般財源	4,094		3,614	0	480	
実績事業費	事業費(千円)	2,993	0	2,479	0	514
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	597		495		102	
一般財源	2,396		1,984	0	412	
	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	漁協負担金	【評価・実績】	漁協負担 495千円 総事業費 49,208千円	総事業費 140,572千円	漁協負担 102千円 総事業費 7,693千円	
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続	年度目標値	100%	100%	100%	100%
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0%
	第6期計画への継続	全体達成率	0%	48%	48%	58%
		備考欄				

事業名	幌内地区(幌内漁港)水産生産基盤整備事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	工事進捗率
【抱える課題やニーズは】	船揚場が不足し漁港が狭隘であるなど、漁港機能の高度化及び漁業活動の安全性・生産性の向上を要する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設整備により漁港機能が高まり、漁業活動の安全性の向上が図られ、生産性の高い環境を創造する。	① 工事進捗率	目標年度 目標値 実績値 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	漁港機能が高まり、漁業活動の安全性・生産性の向上を図る。		平成28年度 100% 100% 100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	漁港整備に係る地元負担金の支出	北海道が実施する幌内漁港整備事業に対する地元負担金の支出	②
			目標年度 目標値 実績値 達成度
			平成27年度 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	幌内漁港における生産性向上や安全性の確保のため、漁港整備は重要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	漁港拡張に向けた西護岸の整備が計画どおり進捗している。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	地元負担割合が定められており、コスト削減ができないが、早期の補修要望を行うことにより、総事業費の低減が図られる。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減	
課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	水産基盤整備事業に係る地元負担金については、条例に基づき受益者負担金(負担額の20%)を徴収している。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的な施設整備により、漁港機能の向上及び漁業の安全性、生産性の向上が推進されている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
幌内漁港における漁業活動が円滑に行なわれるよう、早期の整備に向けて継続して実施する必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止